

小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護の自己評価票

(網掛け部分は外部評価の調査項目)

(別紙 3)

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	理念に基づく運営	毎月1回のミーティングにて議題に出し話しをしています。	○	
	1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時より、理念を作成しております。	○	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる		○	ミーティングや朝礼・終礼にて、スタッフには伝えています。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域運営推進会議・家族会2ヶ月に1回行えない時がある為右の欄に記入致しました。	○	2ヶ月に一度の地域運営推進会議や家族会に参加して頂き、伝えていきたいとおもいます。
	2. 地域との支え合い		○	地域の方々とはもっと関わっていききたいです。
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	御利用者との散歩の時に挨拶・会話をさせて頂き立ち寄って頂けるよう努力している。	○	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		○	現在は地域の自治会、老人会との交流はありませんが、保育所とは月に一度程度ですが交流を持っております。
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		○	ミーティングの議題で時々話し合う事もありますが、実際には行っておりません。
	3. 理念を实践するための制度の理解と活用		○	全スタッフの理解はまだ出来ていないと思います。
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる		○	管理者は、評価の大切さを理解しておりますが、まだ外部評価は受けた事はありません。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		○	事業所のサービス向上に活かしておりますが、現在2ヶ月に一回実地出来ていない状況です。

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		○	分からない事があれば、電話をさせて頂く程度で行き来はあまりないです。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			必要な方には、活用させて頂いております。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている			事業所の内でのリスクマネジメント委員会の内容をミーティングにて、スタッフに伝えております。
	4. 理念を実践するための体制		○	現在は体制を作っている状況です。
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な説明を行っております。御家族のご意見は十分に伺っております。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御利用者が意見を言いやすい雰囲気作りに努めております。御家族には、ご要望シート等にて対応させて頂いております。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご面会時には必ず説明させて頂いております。またお変わりがあった場合は電話にて報告させて頂いております。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		○	家族会を2ヶ月に1回行っており、その時に意見を頂く場を設けております。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回のミーティングにて意見を出す場を設けています。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている		○	現在スタッフの人数の都合上、柔軟な対応はできておりませんが、解決策としてスタッフの
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者が交代する場合やスタッフの離職時には、利用者御家族には説明させて頂いております。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	5. 人材の育成と支援		○	人材育成は現在力を入れて行いたいです。
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別や年齢等で排除はしてません。スタッフについても生き生き働いて頂ける様に配慮しているつもりです。	○	
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる		○	以前は、会社内で勉強会を月に一度開催していましたが、最近はありません。
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている		○	管理者が個人個人の様子を見て、スキルアップの為に説明をしていますが、研修は会社が進めるというわけではなく、スタッフ個人で行われている状況です。
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		○	地域の同業者の交流会には参加させて頂いております。その時に情報の交換も行っています。
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		○	スタッフの悩み相談は受けていますが、まだまだ軽減できていないと思っております。
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		○	把握しているつもりです。またみんなが働きやすい職場作りに努めています。
	安心と信頼に向けた関係づくりと支援	介護されている方の気持ちになって相談はお受けしております。		
	1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学後の相談時に話ができるかたならば、ご本人の意見や要望もお聞きしています。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の説明時に御家族が納得して頂けるまでお話をさせて頂き、それから利用というかたちをとらせてもらっております。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方の全体的な状況を把握しその方にあったサービスを進めるようにしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	御利用者の状況に応じて、その方が馴染めやすい方法を御家族と相談し実行しています。		
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	これまでの関係を大切に、新たな関係につなげて		
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		○	当施設入居施設なので、24時間関わります。なのでその方と一緒に生活しているつもりで関わらせて頂いております。
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族の介護に関する悩み等の相談もお受けしております。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している		○	食事会やイベント時に参加を促し、関わる場を設けています。が頻繁には行えないのが現状です。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている		○	みなさん入居生活という事もあり、自己にて外出されることはありません。ですのでドライブや御家族の協力を得て外出の機会を作っております。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている	御利用者同士が関わりを持てるよう、夜間以外はなるべくフロアにて他者と一緒に過ごして頂くようにしています。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている		○	サービス利用終了後は、こちらからは連絡をとっていません。
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	施設サービス計画書にて、一人ひとりの計画を作成し実行しています。		
	1. 一人ひとりの把握			
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思の疎通が出来る方からは希望を聞き対応していますが、意思疎通が出来ない方はスタッフ全員から情報を集め計画を作成しております。		
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人から聞ける場合は本人から伺い、分からない部分は御家族から情報を頂いております。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている		○	把握しているつもりですが、スタッフ全員が把握できるように、スタッフ間の密なコミュニケーションが必要だと思っております。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3ヶ月に1回計画の評価、必要なら変更を行っています		
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	話せる方なら本人、話せない方なら御家族またはスタッフとでカンファレンスを行い、施設サービス計画を作成しています。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回計画の評価を行っています。またその前に状態の急変等が発生した場合はすぐに計画を変更しています。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は簡素化してあるので、何かあった場合(不穏等)は連絡ノートや個人の記録にて情報の共有をしています。		
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援		○	ある機能は活用しているつもりです。
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている		○	できる限り要望には応え、柔軟な支援をさせて頂いているつもりです。
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		○	地域との関わりはまだあまりできていないと感じます。
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している		○	消防署とは消防訓練等で関わりがありますが、他の機関とは関係がありません。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		○	必要がある場合は連絡をとっていますが、特に何もなければ連絡はしていません。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは、地域運営推進会議の時に会議に1名参加して頂き、意見等を頂いております。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回、第二・第四水曜日に提携病院のドクターが往診に来て下さいます。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している			認知症の専門医の往診は行っていませんが、入居者それぞれ、自分のかかりつけ医に定期受診の際に診察を受けています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている			現在看護職員はいません。ですので何かあった場合は119や提携病院の受診にて対応させてもらっています。
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された場合は、3日に1回はお見舞いに行くようにしています。その時に病院関係者ともコミュニケーションを図っています。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している		○	医師が常駐していないし、看護スタッフもいないので、医療が必要になった場合は御家族と相談し入院を勧めています。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている		○	看護スタッフがいらないことから、状態が悪くなられた時や医療が必要になった時は、入院して頂いています。
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えに関しては、別の施設には(情報提供書)や口頭にて説明を行っています。入居者御本人にもダメージがないよう配慮しているつもりです。		
	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		○	現在入居者には自由に過ごして頂いておりますが、その人らしい生活とまでは行き届いていないと思います。今後行き届かせる事ができるよう努力していきたいと思っております。
	1. その人らしい暮らしの支援			
	(1) 一人ひとりの尊重			
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護には気をつけています。		
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定ができる方にはこちらから働きかけて、自分で決めて頂いていますが、自己決定出来ない方に関しても本人の意向をなるべく聞けるよう努力しています。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			一人ひとりのペースを大切に考えていますが、こちらで何かを決めないと何もされない方もおられるので、ある程度のプログラムは決めています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	その人らしく過ごせる様、努力はしています。		
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		○	お化粧をされる方にはお化粧をして頂いています。理・美容に関しては、月に1回来て下さる地域の理髪店を利用して頂いています。御家族と一緒に自分の望む店に行かれる方も
56	食事を楽しむことのできる支援 重食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御利用者と一緒に食事を食べています。準備、後片付けに関しては、できる方にはこちらでその日の様子をみてやって頂いています。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食べ物に関しては、こちらで管理させて頂いております。お酒は提供していません(飲みたいけど飲めない方もおられるので)タバコは御家族の了解を得た方には時間を決めて提供しています。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	歩行・立位が出来る方は、なるべくトイレに行って頂いています。排泄介助に関しては、個人個人のパターンを把握し対応させて頂いています。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		○	スタッフ・プログラムの都合上入浴時間は施設側で決めさせて頂いています。個人の意見も尊重させて頂いているつもりです。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯時間は21:00ですが、個人個人で消灯される時間は異なりますので、それに合わせて対応させて頂いております。		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援		○	社会的支援もっと行っていきたいと思いま
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			入居者それぞれの生活歴・現在もて得る能力を把握し対応しているつもりですが、まだ喜びのある日々とまでは行っていないと思えます。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している			金銭は基本的にスタッフが管理していません。買い物時などは、自分で支払って頂く等の援助を行っています。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			人員の人数の都合上、一人ひとりの希望の外出は行っておりませんが、こちらで考えドライブや散歩等を行っています。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している			普段外出できない場所等には、イベント時(バスハイク)に出かけています。

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている			御家族の承諾がある方・認知症の度合いが軽度な方には、電話対応等はして頂いています。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	御家族や友人等が気軽に訪問して頂けるよう、スタッフ全員で配慮しています。		
	(4) 安心と安全を支える支援	100%とまでは言えませんが安心・安全には気をつけています。		
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護保険に関してはスタッフ全員が熟知できていないと思いますが、基本的に当施設では、身体拘束は行っておりません。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	当施設では、夜間は玄関の施錠をしておりますが、日中は施錠しておりません。居室は鍵を付けておりません。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している			配慮を行っておりますが、転倒等も発生するので絶対ということとは言えませんが、配慮はしています。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ミーティング等で危険であるという意見が出た場合や御家族から要望があった場合、管理者が判断し保管・管理の指示をだしています。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる			事故に関しては、日頃からスタッフに注意をしています。他には事故マニュアルをおいています。
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている			管理者は、消防の研修に参加し急変時、事故発生時の対応を学習する機会もありますが、全スタッフとまではまだ出来ていません。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			施設内では、災害対策のマニュアルを置いています。地域との協力関係はまだできていないと思います。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こりうるリスクに関しては、事前に御利用前の説明時に説明を行っています。		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	配慮しているつもりです。		
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常にスタッフには、入居者の様子観察をお願いしています。何かあった場合には速やかな対応をお願いしています。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている			薬に関しても、命に関わる大切なことだと、スタッフには伝えていますが、しかし全員が薬の目的、副作用まで理解はできていないと思います。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便に関しては毎日チェックをしています。その上で便秘の方には水分摂取を促したり、薬にて調節しています。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、自分で出来る方には歯磨きをできない方には口腔ケアを行っております。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、バランスは考えて作っております。また食事量、水分量は毎日チェックして一人ひとりのケアを行っております。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関しては、マニュアルを作成しております。また現在実行している事は、食事前はテーブル、入居者の手をアルコールで消毒し対応させて頂いております。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理につきましては、委託しておりますのでしっかり管理を行っております。台所、調理用具に関しましても、毎日掃除を行っております。		
	1. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			居心地の良い環境作りは、スタッフみんなで心がけておりますが、まだ行き届かない点もあると思います。
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている			玄関前には、花等の植物を置き、施設に来られた方がリラックスできるようにしております。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			共用の空間には、あまり物は置かず、入居者の方が普段馴染んでいる空間をあまり変えないようにしています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の状態に応じて、それぞれの方が過ごしやすい空間作りに努めています。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者、御家族の意見を踏まえ、居室に関しては配慮させて頂いています。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節に関しては、スタッフが状況をみて調節しております。入居者の意見も聞くようにしています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり		出来る力は生かして頂いています。安全な環境作りにも努めております。		
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している			日常生活上の作業をして頂く上で、動きやすい構造にしております。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している			一人ひとりの持てる力ほ生かして頂いていますが、認知症の方ばかりなので、失敗する事もあるし、時には混乱(不穏)になる事もあります。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周囲は散歩等でりようしていますし、ウッドデッキもあるので、体操を行ったりしています。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

御利用者には、毎日自由に過ごして頂いております。転倒の危険等もありますが、御家族に説明を行いストレスなく過ごして頂ける様努力しております。